

NPO法人ウィッグリング・ジャパン

＜抗がん剤による脱毛や脱毛症等による薄毛・脱毛などでウィッグを必要としている方が、パソコンやスマホから幅広く医療用ウィッグを選べるようになるウィッグ手配のデジタル化事業＞

— 令和3年度補助額：500,000円 —

団体紹介

がん治療は医師を中心に医療従事者が行いますが、病院を出た後の生活上の相談をする場所がないことに不安を持つ患者が多くいます。治療中のがん患者を孤独にしないよう、病院を出た後の相談と外見のケアができる受け皿をつくるため、がんという病気・心と外見のケアを学び、社会全体でサポートしていけるような認定講座を作って受講生を募り、認定サポーターとして世に送り出しています。

補助事業概要

抗がん剤の使用で脱毛した女性にウィッグをレンタルすることにより、精神的・経済的なダメージを軽減しピアランスケア（外見のケア）を行っています。ウィッグのデジタル化販売に向け、寄付されたウィッグを1つ1つ査定し、マネキンにかぶせてスタイリングし、複数方向からの撮影、ウェブサイトアップなどをしました。ウェブサイトをご覧になった方からは、ウィッグの髪形や様子が分かって良いと言っていた一方、ウィッグの裏地等の状態が分かる写真を載せてほしいというご意見も頂きました。手術や脱毛症等、様々な理由でウィッグが必要となった方へ門戸を拓けていきます。



【オンラインショップの販売ページ】



【ボランティアの方々】



【寄付されたウィッグ】